

H27年度（第22期）環境活動レポート

（2015年8月～2016年7月）



株式会社 メイナン

作成日 2016年8月1日

Ver2

目 次

| | | |
|---------------------------|-----|-----|
| 1. 組織の概要と推進体制 | ・・・ | 3P |
| 2. 対象範囲（認証・登録範囲） | ・・・ | 7P |
| 3. 環境方針 | ・・・ | 8P |
| 4. 環境目標 | ・・・ | 9P |
| 5. 環境への取組（計画） | ・・・ | 10P |
| 6. 環境目標の実績 | ・・・ | 11P |
| 7. 環境関連法規の遵守状況 の確認及び評価 | ・・・ | 12P |
| 8. 代表者による全体評価と見直し | ・・・ | 13P |

□ 組織の概要と推進体制

1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名 株式会社 メイナン
代表取締役 吉田 玲子
- (2) 所在地
〒290-0047 千葉県市原市岩崎2-21-18
- (3) 環境保全関係の責任者及び連絡先
能満事業所長 三上 一憲 連絡先 0436-74-3033
- (4) 事業規模
会社設立 平成7年4月
資本金 30百万円 ※決算 7月末
前年度の売上 480百万円
前年度の取扱量 8,113 t
従業員数 40名

2. 許可内容

(1) 産業廃棄物収集運搬業許可

| 区 域 | 許可No | 取得年月日／有効期限 |
|------|--------------|---------------------------------------|
| 千葉県 | 01210045077 | 優良事業者認定事業者 平成19年01月28日／平成33年01月27日 |
| 東京都 | 13-00-045077 | 優良事業者認定事業者 平成15年09月18日／平成32年09月17日 |
| 茨城県 | 00801045077 | 優良事業者認定事業者 平成15年10月12日／平成32年10月11日 |
| 神奈川県 | 1401045077 | 優良事業者認定事業者 平成19年12月14日／平成31年12月13日 |

[許可車輛]

| 車種 | 最大積載量 | 車種 | 最大積載量 |
|-------------|-----------|--------|-----------|
| 4 t アームロール車 | 3,750 k g | ユニック車 | 2,600 k g |
| | 3,950 k g | | 2,750 k g |
| | 3,950 k g | | 2,750 k g |
| ウィング車 | 3,000 k g | 平トラック車 | 4,000 k g |
| | 8,000 k g | パッカー車 | 4,000 k g |

[積替保管]

| 積保品目 | 保管面積 | 最大保管量 |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 石膏ボード（石綿含まず） | 15.5m ² | 20.5m ³ |
| 石膏ボード（石綿含む） | 15.7m ² | 20.5m ³ |
| 蛍光灯 | 7.8m ² | 10.3m ³ |
| がれき類 | 7.8m ² | 10.3m ³ |

(2) 産業廃棄物処分量許可

| 区 域 | 許可NO | 取得年月日／有効期限 |
|-----|-------------|---------------------------------------------------|
| 千葉県 | 01220045077 | 優良事業者認定事業者 平成 22 年 03 月 30 日／平成 29 年 03 月 29 日 |

[許可品目]

| 項 目 | 品 目 | | |
|----------------|-----------------------|------|-----|
| ア 破碎による中間処理 | 廃プラスチック類 | 紙くず | 木くず |
| イ 切断による中間処理 | 廃プラスチック類 | 金属くず | |
| ウ 剥離による中間処理 | 廃プラスチック類 | 金属くず | |
| エ 溶融・固化による中間処理 | 廃プラスチック類 | | |
| オ 裁断による中間処理 | ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず | | |

[処理能力]

| 品目 | 処 理 能 力 （1日当たり） | | | | |
|-----------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| | 破碎 | 切断 | 剥離 | 溶融・固化 | 裁断 |
| 廃プラスチック類 | 4.8 t | 1.73 t | 1.64 t | 2.16 t | |
| 木くず | 3.8 t | | | | |
| 紙くず | 2.23 t | | | | |
| 金属くず | | 1.73 t | 1.64 t | | |
| ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず | | | | | 10.9 t |

[処理設備]

| 設置場所 | 設備名 | 台数 | 設備名 | 台数 |
|-------|---------|----|------------------------|----|
| 岩崎事業所 | 粉碎機 | 3 | 汚水循環システム | 1 |
| | ベルトコンベア | 1 | フォークリフト | 1 |
| | 置秤 | 1 | | |
| 能満事業所 | 押出機 | 2 | 切断機 | 1 |
| | 減容機 | 1 | プレス機 | 5 |
| | 裁断機 | 1 | 破碎機・粉碎機 | 5 |
| | 剥離機 | 1 | 攪拌機 | 3 |
| | ホイローダー | 1 | ベルトコンベア (内金属探知機付1台) | 6 |
| | 油圧ショベル | 3 | フォークリフト | 9 |
| | 40t台貫 | 1 | 置秤・吊秤 | 5 |

(3) 廃棄物再生事業者登録証明書

| 区域 | 許可NO | 取得年月日 |
|-----|------|------------|
| 千葉県 | 44 | 平成11年3月31日 |
| | 52 | 平成12年4月20日 |

注1 各許可書及び処理料金の詳細は、産廃ネット(<http://www.sanpainet.or.jp>)を参照ください。

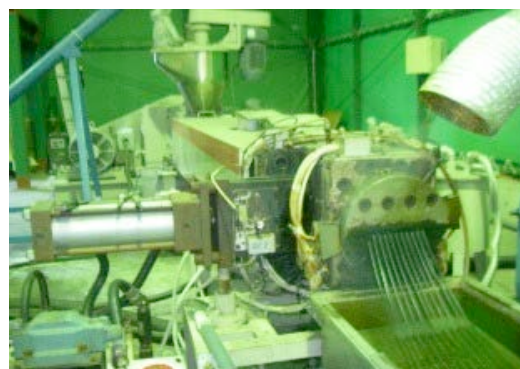
注2 処理能力等の詳細は、産廃ネット(<http://www.sanpainet.or.jp>)を参照ください。

注3 化学物質は、取り扱っておりません。

(4) 処理工程

① 廃プラスチック類

廃棄物の受入 ⇒ 分別 ⇒ 破碎 ⇒ 燃料補助材 ⇒ (販売)
 ↓ ※ 残渣 (処分委託)
 溶融・固化 ⇒ 成形原料 (販売)



② 木くず

廃棄物の受入 ⇒ 分別 ⇒ 破碎 ⇒ 堆肥原料 (2次委託) ⇒ (販売)

③ 紙くず

廃棄物の受入 ⇒ 分別 ⇒ 破碎 ⇒ 燃料原料 (2次委託) ⇒ (販売)
 ⇒ プレス ⇒ 製紙原料 (販売)

④ガラスくず、陶磁器くず及びコンクリートくず

廃棄物の受入 ⇒ 分別 ⇒ 裁断 ⇒ 路盤材原料（2次委託）⇒ （販売）

⑤金属くず

廃棄物の受入 ⇒ 分別 ⇒ 切断 ⇒ 鋼材原料（販売）

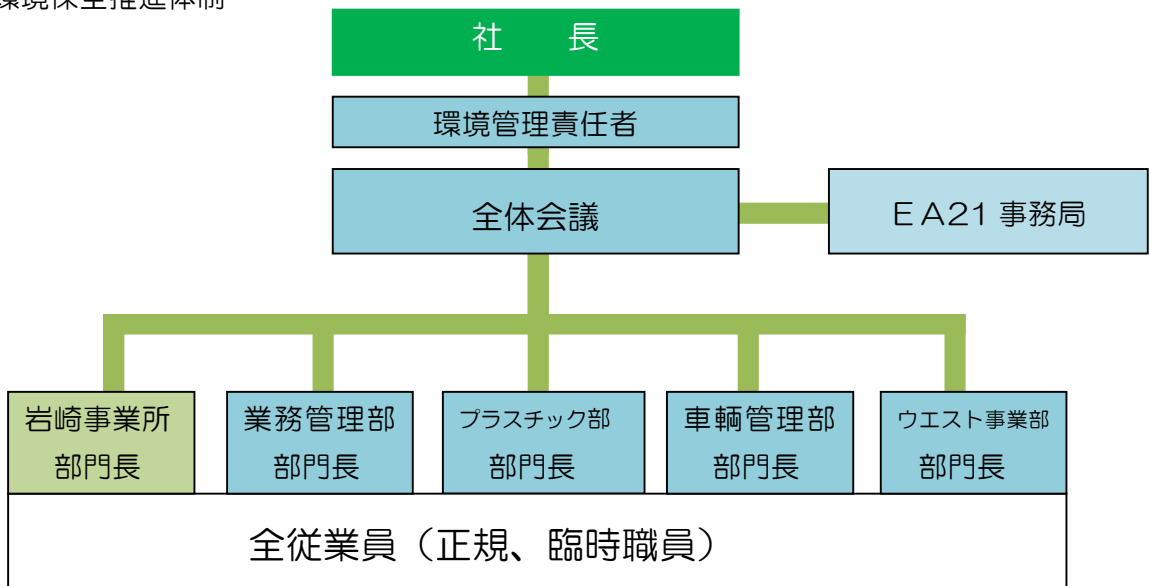
↓ ※残渣（処分委託）

剥離 ⇒ シアメタル（販売）

※廃プラスチック類 ⇒ ①にて処理

2. 推進体制

(1) 環境保全推進体制



(2) 環境マネジメントシステムの役割・責任及び権限

・社長

- 環境方針の策定と誓約
- 環境活動のための経営資源の確保
- 環境マネジメントシステムの見直し
- 環境方針の全従業員への周知
- 環境管理責任者の任命

・環境管理責任者

- 環境マネジメントシステムの確立、維持
- 環境マネジメントシステムの実施状況及び適切性、妥当性、有効性の検証
- 環境マネジメントシステム実施状況の経営者への報告
- 環境方針の立案及び見直し必要性の検討

・EA21事務局

- 環境マネジメントシステムと活動計画との適合性 確認検討
- 環境マネジメントシステム要求事項との適合性確認検討
- 環境マネジメントシステムの効果的实施及び維持 向上

環境関連法規等の新設、改廃状況の情報収集及び 環境関連法規制一覧の改定案作成
部門間の連絡・調整

・各部門長

環境方針、全社環境目標及び活動計画の部内周知
部門内環境目標及び環境活動計画の策定
自部門に該当する環境活動計画の推進
自部門内又は作業場での環境活動計画の推進・指導
環境活動計画実施状況の報告

・全体会議

環境マネジメントシステムの実施状況及び適切性、妥当性、有効性の報告
環境マネジメントシステム実施状況の経営者への報告
環境方針の見直し案の検討

・従業員

環境方針に基づく環境活動計画の理解と参画
地域ボランティア活動等の積極的参加
社内外におけるエコドライブの励行

(3) 環境活動レポートについて

- ・次回発行予定 : 2017年8月上旬。
- ・環境活動レポートはHPで公開しています。また、閲覧可能な状態を保ちます。

□ 対象範囲（認証・登録範囲）

| | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 認証・登録番号 | : 0000933 |
| 認証・登録日 | : 2006/8/23 |
| 認証・登録事業者 | : 株式会社 メイナン |
| 対象事業所名 | : 本社及び岩崎事業所、能満事業所 |
| 所在地 | : 〒290-0047 千葉県市原市岩崎 2-21-18 ※ 非対象事業所 〒260-0842 千葉市中央区南町 1-4-46 千葉事業所 (環境負荷が著しく小さいため登録していません) |
| 事業活動内容 | : 廃棄物再生並びに中間処理（廃プラスチックの受入、再生加工（製造） 及び出荷業務、プラスチック・古紙・鉄・非鉄金属の回収及び買取）、 産業廃棄物の収集運搬業 |

【基本理念】

株式会社メイナンは、混ぜれば「ごみ」、分ければ「資源」を企業スローガンに掲げ、資源循環型社会（3R：リデュース、リユース、リサイクル）に貢献する企業集団をめざします。

【行動指針】

株式会社メイナンは、基本理念の実現に向けて以下のことを行動指針とします。

- 1) 社員の分類選別能力を継続的に高め、受入した廃棄物のリサイクル量の増加に努めます。
- 2) 事業活動で発生する廃棄物排出量の削減、製造・輸送工程で使用する化学燃料、電気並びに水の使用量を削減すると共に、グリーン購入や地域関連行事に積極的に参加します。
- 3) 緊急事態を想定した教育・訓練を計画的に行い、近隣地域及び工場内の環境保全の維持に努めます。
- 4) 環境法規や市条例等を順守し、「安全」で「安心」なリサイクル事業を展開します。
- 5) インターネット等を活用しお客様や近隣地域住民の方々、並びに従業員全員に環境方針を公開しております。

改訂：平成27年9月1日

制定：平成17年7月7日

代表取締役 吉田 玲子

□ 環境目標

1) 第22期中期環境削減活動実績

| 項目 | | 単位 | 第22期 | | 第23期 | 第24期 |
|----|-----------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|
| | | | (目標) | (実績) | (目標) | (目標) |
| 全社 | CO ₂ 節減効果量 | t | 12,046 | 13,287 | 12,279 | 13,345 |
| | 廃棄物排出量 | kg | 216 | 174 | 210 | 200 |
| | 水資源 (事務所) | m ³ | 188 | 152 | 160 | 170 |
| | 水資源 (工場) | m ³ | 7,500 | 5,500 | 4,650 | 4,900 |
| | グリーン購入量 | ¥ | 402,000 | 650,753 | 474,000 | 500,000 |

2) 用語説明

①リサイクルCO₂量：プラスチック、金属、古紙等を再資源化することで、削減出来る二酸化炭素の量（環境負荷の削減に対してはプラス要素）です。

②環境負荷量CO₂：事業活動で使用するガソリン、軽油、LPGガスや電力等により発生する二酸化炭素量（環境負荷の削減に対してはマイナス要素）
 ※電力の二酸化炭素排出係数はH19年度東京電力二酸化炭素実排出係数（0.425kg-CO₂/kWh）を使用しています。

③CO₂節減効果量：リサイクルCO₂量①から環境負荷量CO₂②を引いて、算出されるCO₂の発生抑制量です。

④廃棄物排出量：事務所から排出される一般廃棄物の排出量です。
 ※第22期から本格的な削減運動に着手しています。

⑤水資源投入量：事業活動（事務所・工場）で使用する水の使用量です。
 ※人員増加を考慮しているため、使用量は増えますが引き続き節水に努めます。

⑥グリーン購入量：消耗品、備品等を対象に環境に配慮した商品を購入します。

□ 環境への取組（計画）

1) 第22期 環境への取組（計画）

| 指標 | 環境保全活動項目 | エコファクトリー&オフィス推進施策 |
|--------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| リサイクルCO ₂ 量拡充 | ・産廃物の受入拡大 | 1) 廃プラスチックのリサイクル量の拡大 2) 不燃廃棄物から可燃廃棄物へのソフトランディング移行 3) CSカードのリニューアルによる顧客ニーズ調査の充実 |
| | ・社員教育の充実 | 1) 受入検査体制の強化（商品検査報告書の発行） 2) 待ち時間短縮による顧客サービスの向上 3) 車両部門のスキルアップとフォロー |
| | ・売上向上 | 1) Aランク顧客の定期訪問による安定物量確保 2) クレーム防止策の定着 3) 契約マニュアルの充実と管理体制強化 |
| | ・グリーン購入推進 | 1) 環境に配慮した物品の優先購入 2) 専任者を決めて購入基準を平準化 3) 月次管理より購入促進を図る |
| CO ₂ 環境負荷量削減 | ・電力使用量の削減 | 1) 計画的な設備運転による最大電力の抑制 2) 製造設備及び運搬車両の定期点検実施 3) 省エネ活動の推進 |
| | ・化石燃料使用量の削減 | 1) ムダ、ムリ、ムラの3無撲滅 |
| | ・廃棄物排出量削減 | 1) 事業所に持ち込む一般廃棄物の持込削減（手弁当の推進） 2) 分別教育による廃棄物削減とリサイクル推進 3) 生ものの保管設備の完備（保冷設備の設置） |
| 水使用量削減 | ・水資源使用量の抑制 | 1) 手洗い・洗濯水の節水 2) 押出機使用時の冷却水のちょい出し運動の推進 3) 雨水・冷却水の再利用による総合的な節水 4) 定期的な場内巡回による漏水個所の確認 |

□ 環境目標の実績

1) 環境への取組み (第22期 実績)

| 項目 | 期 | 単位 | 目標 | 実績 | 評価 | |
|----|-----------------------|----------------|---------|---------|----------|-------|
| | | | | | (増減量) | (達成率) |
| 全社 | CO ₂ 節減効果量 | t | 12,046 | 13,287 | +1,241 | 110% |
| | 廃棄物排出量 | kg | 216 | 174 | - 42 | 124% |
| | 水資源 (事務所) | m ³ | 188 | 152 | - 36 | 124% |
| | 水資源 (工場) | m ³ | 7,500 | 5,500 | -2,000 | 136% |
| | グリーン購入量 | ¥ | 402,000 | 650,753 | +248,753 | 162% |

2) 取組結果

第22期は、目標項目全てをクリアーすることが出来ました。各要因は以下の通りです。

- ①CO₂削減効果量 : 各生産現場の担当者の電力削減意識が定着した結果、コンプレッサー等の不必要な電源投入が減り、達成率101%となった。
また、生産活動以外の土木工事の発生がなかったため、重機燃料使用量も-20%減で、着地しました。但し、フォークリフトのLGP使用量は未達となりましたので、詳細分析を行い、来期節減に努めます。
- ②廃棄物排出量 : 社員食堂利用数は増加しましたが、個人のゴミの持込削減を呼びかけた結果、減量に結びつきました。
- ③水資源投入量 : ペレットの生産調整もありましたが、漏水個所が判明し処置出来た事が大きな要因です。
- ④グリーン購入量 : 第22期は、人員移動や業務移管に伴う事務用品のスポット購入があったため、予算を大きく上回る結果になりました。

3) 2016年度(第23期)環境活動予定

- ①廃棄物の受入品判定基準の見直しに基づく契約先への分別指導の強化
- ②顧客満足度の向上 (CSカードの見直しによる顧客ニーズの吸い上げ強化)
- ③設備や重機の自主点検及び整備の強化 (始業前点検による不具合箇所の早期発見と是正)
- ④グリーン購入・省エネ用品の利用拡大
- ⑤廃棄物の再生資源化の推進 [受託した産業廃棄物量(8,113t)及び排出量(277t)]

| | 第21期(実績) | 第22期(実績) | 第23期(目標) |
|--------|----------|----------|----------|
| 再生資源化率 | 97.2% | 96.6% | 97.5% |

※プラスチックのマテリアルリサイクルを基本とする廃棄物処理施設のため、再生資源化率は比較的高いレベルを維持しておりますが、来期以降も維持向上に努めてまいります。

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認、評価

1) 環境関連法規等の遵守状況と評価

| 主な遵守法令 | 遵守事項 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 廃棄物の処理法及び千葉県条例 | 産業廃棄物の収運実績及び処理実績報告、マニフェストの適正管理（保存期間5年）、廃棄物維持管理報告、順法に基づく各種表示と廃棄物の適正保管、自社排出マニフェストの適正管理、処理施設・収集運搬車の許可表示及び標章提示等。 （産業廃棄物収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可） |
| 道路交通法、貨物自動車運送事業法 | 運行管理者の配置、安全運転管理者の配置、法定定期検査の実施 |
| 浄化槽法 | 浄化槽の定期清掃 |
| 電気事業法 | 法定定期検査の実施 |
| 計量法 | 法定定期検査の実施 |
| 消防法 | 消火設備の設置と点検 |
| 市原市条例 | 事業所排出物の減量推進 |
| 市原市生活環境保全条例（騒音規制） | 規制値の遵守等 |

1) H28年7月31日現在、環境関連法規等の順守状況及び行政への報告状況を確認、並びに関係当局、近隣住民からの違反・指導、訴訟はありませんでした。また、引き続き法令遵守に努め違反及び訴訟のないよう努めてまいります。（起業以来、違反等0件）

※ 主な法改正 廃棄物処理法、労働安全衛生法、グリーン購入法

2) 環境上の緊急事態への準備及び対応

第22期は、環境上の事故及び緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的に試行すると共に訓練を実施する。事故や緊急事態の発生後及び試行の実施後に、対応策の有効性を検証し、必要に応じて改定するという観点から「緊急時対応表」を作成し、従業員全員に「初動」「緊急活動」「連絡体制」等を周知徹底いたしました。



□ 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 全体評価

① 環境への取組は適切に実施されているか

当社の環境活動は、適切に実施されています。

当社は、廃プラスチックの材料リサイクル事業をベースに環境活動を展開しておりますが、今期初めて全ての環境目標をクリアすることが出来ました。

(温室効果ガス排出量 104%、リサイクル生産・処理量 107%、事務所の節水量 124%等)
第23期は更に取組内容を精査して継続的な「CO₂削減」や「環境負荷低減」に繋がるよう努めてまいります。

② 環境経営システムが有効に機能しているか

当社の環境経営システムは有効に機能しています。

第22期は、目標を達成することにより目標設定や施策・展開の足りなかった点が良く把握出来て大変プラスになりました。第23期は、不足な点を更に肉く付けして継続的な改善に繋げスパイラルアップすることを期待しています。

2) 見直しの有無

- | | | |
|-------------------|--------|--------------------------------------------|
| ① 環境方針 | 変更の必要性 | (有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無) |
| ② 環境目標・環境活動計画 | 変更の必要性 | (有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無) |
| ③ その他の環境経営システムの要素 | 変更の必要性 | (有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無) |

代表取締役 吉田 玲子

会社概要、各種許可書、業務内容、アクセスマップなどは下記のHPで、ご案内しておりますので、ご利用ください。

お問合せ先 : 株式会社 メイナンホームページ

<http://www.meinan.bz>

財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 産廃情報ネット

<http://www.sanpainet.or.jp>